

新小谷木橋 NEWS

【Vol.4】平成29年11月発行 編集：岩手県県南広域振興局土木部



世界遺産平泉
PRキャラクター「ケロ平」

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢区で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

～（仮称）新小谷木橋の下部工7基が完成！残る4基にも工事着手！～

一般国道397号小谷木橋工区では、幅員が狭く車両のすれ違いが困難な交通隘路となっており、架橋から60年以上が経過して老朽化が著しい小谷木橋（595.3m）の架替を行います。

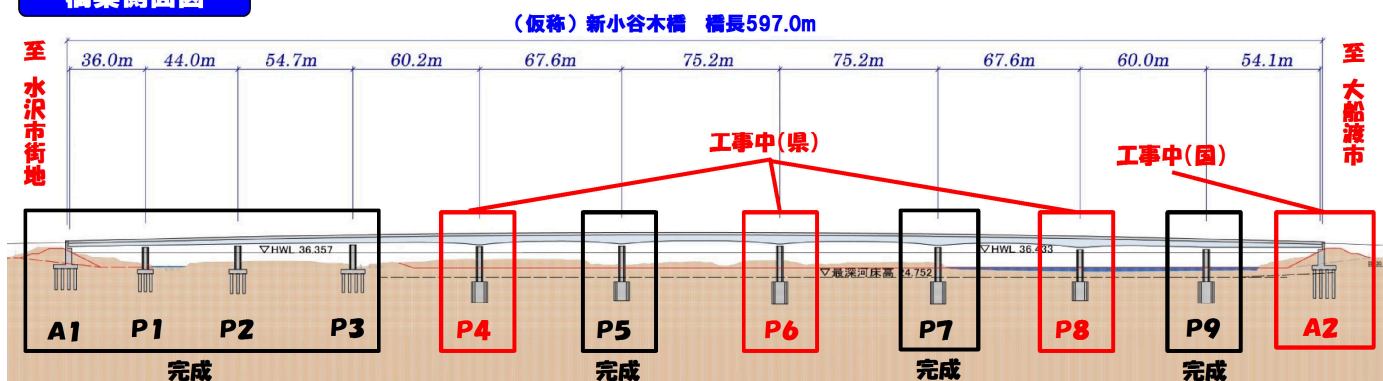
新しい橋（（仮称）新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約130m上流に架橋する計画であり、現在、下部工工事を進めています。

新小谷木橋の下部工は、橋台2基、橋脚9基を整備しますが、平成29年7月までに7基（橋台：A1、橋脚：P1、P2、P3、P5、P7、P9）が完成し、残る4基（橋台：A2、橋脚：P4、P6、P8）にも工事着手しました。

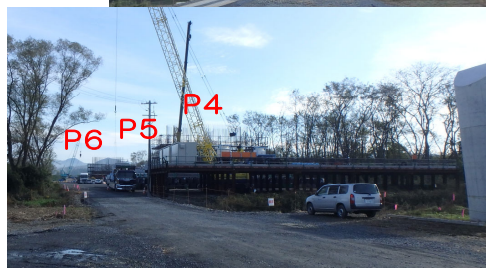
この4基の下部工は、橋脚（P4、P6、P8）を県、橋台（A2）を国（県が工事を委託）が工事を行い、平成30年夏頃の完成を目指して工事を進めていきます。

地域住民の皆さんには工事車両の通行等で大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

橋梁側面図



北上川右岸側の工事状況



北上川左岸側の工事状況





【新小谷木橋の工事受注者紹介】

<橋脚（P4、P6、P8）工事（発注者：岩手県県南広域振興局）>

工事名：一般国道 397 号（仮称）新小谷木橋下部工（その4）工事

受注者：オリエンタル白石(株)・(株)平野組特定共同企業体

工期：平成 29 年 7 月 8 日～平成 30 年 7 月 12 日

連絡先：0197-31-0037

【現場代理人】



○氏名：早川 良一（はやかわ りょういち）

○自己紹介

前回の工事（P5、P7、P9）に引続き、新小谷木橋の施工者の一員として参加させていただく事になりました。

私達は人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指し、少しでも地域のお役に立てるように精一杯頑張ります。

新小谷木橋の施工に際し、安全第一で作業を行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【監理技術者】



○氏名：日下 巳木男（くさか みきお）

○自己紹介

今年の8月まで新小谷木橋のその3工事（P5、P7、P9）の施工に従事し、引続きその4工事（P4、P6、P8）の施工に携わることとなりました。

前回の工事では、地域の皆様のご理解ご協力により無事故・無災害で無事工事を完成させることができ、感謝しております。

今回の工事も、前回工事以上に地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、安全な作業を心掛けますので、引続きよろしくお願い致します。

<橋台（A2）工事（発注者：国土交通省東北地方整備局）>

工事名：新小谷木橋架設工事

受注者：板谷建設(株)

工期：平成 29 年 10 月 12 日～平成 30 年 7 月 31 日

連絡先：0197-47-3100

【現場代理人・監理技術者】



○氏名：菅 秀治（すが しゅうじ）

○自己紹介

今年の 7 月まで新小谷木橋の A1 橋台の施工に携わり、引続き A2 橋台の施工に携わることとなりました。

早期完成を目指し、明るく元気に現場を盛り上げながら工事を進めていきたいと思ひます。

新小谷木橋の工事に際し、何かとご迷惑をお掛けしますが、無事故無災害で工事が完成できるように頑張りますので、ご理解と御協力をよろしくお願い致します。



～奥州市立羽田小学校の現場見学会を開催しました！～

小谷木橋工区では、奥州市立羽田小学校の地域学習の一環として、平成29年11月7日、11月8日に新小谷木橋の現場見学会を開催しました。

現場見学会には、11月7日に3年生(18名)と5年生(28名)、11月8日に4年生(17名)と6年生(23名)が参加し、新小谷木橋の事業計画等を学んだ後、工事が進む下部工(P4橋脚※)の現場を間近で見学しました。 ※北上川右岸側から4番目の橋脚

新小谷木橋は、昨今の県事業では施工事例が少ないニューマチックケーソン工法を採用した橋脚工事を進めており、水槽を使った手づくりの模型等を使用してニューマチックケーソン工法の原理や工事の進め方等を学びました。

また、現場見学会では、新小谷木橋の下部工(P4橋脚の基礎部)に羽田小学校児童が「未来の羽田地区に託す思い」をペイントしました。児童の皆さんが書いた「未来の羽田地区に託す思い」は、下部工工事が進むと見えなくなってしまいますが、完成後も橋の一部として残り続けます。

また、今回ペイントしたP4橋脚の上にはバルコニーを整備する予定となっており、子供達が将来に渡って新小谷木橋に親しみを持ってくれることを期待しています。



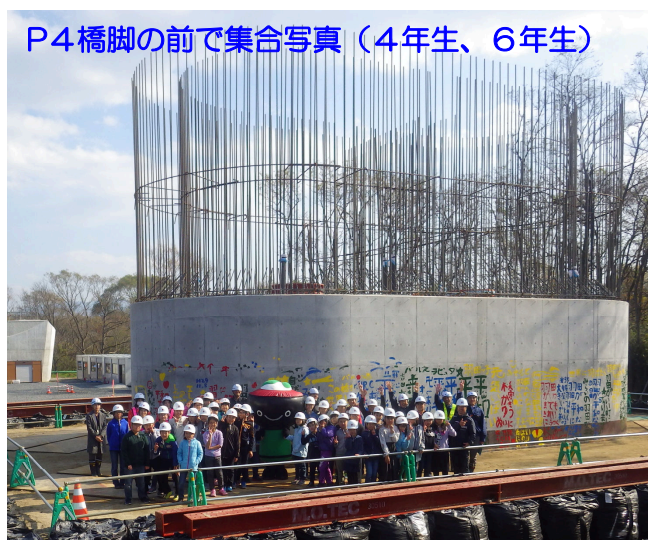
手づくり模型でニューマチックケーソン工法の原理等を学習



P4橋脚に「未来の羽田地区に託す思い」をペイントする児童



P4橋脚の前で集合写真(3年生、5年生)



P4橋脚の前で集合写真(4年生、6年生)



～地域で末永く親しまれる橋梁の整備を目指して～

新小谷木橋は、今後長期にわたり、地域の生活や産業活動を支え、地域のシンボルとなる重要なインフラであることから、計画時点から有識者や地元住民等で構成する景観検討委員会等を組織して検討を進め、新小谷木橋の基本コンセプトである「河川空間および遠方の山並みの風景と調和した橋」を踏まえた橋梁設計を行っています。

昨年度から今年度にかけては、新小谷木橋の基本コンセプトに沿った詳細デザインの設計を行うため、「一般国道 397 号(仮称)新小谷木橋詳細デザイン検討委員会(委員長:南正昭岩手大学理工学部教授、以下「委員会」という。)」で専門的見地や地元意見等を踏まえた検討を進め、平成 29 年 6 月 27 日に開催した第 3 回委員会では、残る検討項目である橋桁の色彩案について検討を行いました。

橋桁の色彩案については、第 2 回委員会で「日本の伝統色」から選定した最終色彩候補案 5 色について、実際の色彩に塗装したサンプルを小谷木橋に展示し、周辺景観との調和状況等を現地を確認しながら検討を行った結果、周辺景観とのバランスや橋梁付属物の色彩がダークグレーであることなどを踏まえ、「利休鼠(りきゅうねず) (緑みの灰色)」を採用することを満場一致で決定し、委員会の審議事項の検討が全て終了しました。

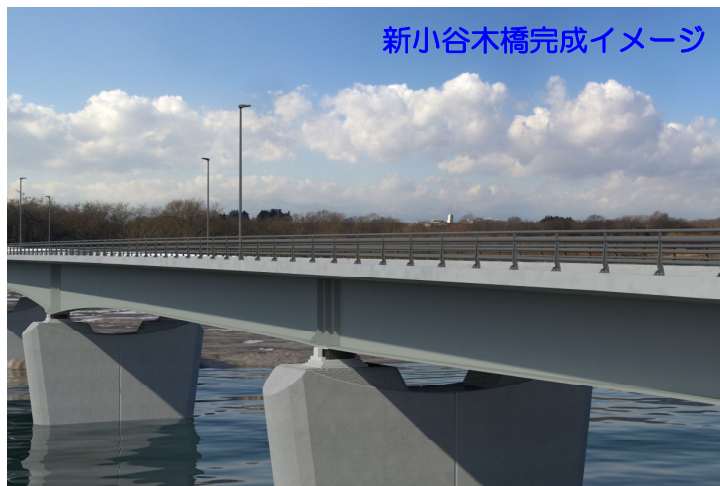
委員会の報告書については、平成 29 年 7 月 31 日に取りまとめを行い、以下の岩手県ホームページに掲載していますのでご覧ください。

今後は、委員会の検討結果を新小谷木橋の橋梁設計に反映し、小谷木橋工区の平成 32 年度供用に向けて全力で事業を推進していきます。

第 3 回委員会の検討状況



新小谷木橋完成イメージ



【岩手県ホームページ】

[トップページ](#) > [県南広域振興局](#) > [土木部](#) > [お知らせ](#)

<http://www.pref.iwate.jp/kennan/doboku/45920/index.html>

採用する橋桁の色彩(利休鼠:緑みの灰色)



【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課

〒023-0053 岩手県奥州市水沢区大手町 1-2 電話番号:0197-22-2881(内線 351)

三陸復興